

筑波大学比較・理論文学会 平成19年度活動報告

雑誌名	文学研究論集
号	26
ページ	65-66
発行年	2008-01-31
URL	http://hdl.handle.net/2241/99624

筑波大学比較・理論文学会 平成 19 年度活動報告

(以下のデータは 2008 年 1 月 15 日現在のもの)

◎博士号請求論文中間発表会(2007 年 9 月 26 日 於筑波大学人文社会学系棟 A110)

- ・李英和(総合文学 5 年次)

遠藤周作の文学とキリスト教

- ・金牡丹(総合文学 5 年次)

「われわれ」のアイランド

——日本と朝鮮植民地におけるアイランド文学——

- ・呉亦昕(総合文学 5 年次)

帝国の中心で<台湾文学>をつくる

——日本語雑誌『フォルモサ』(1933-1934)とその周辺

- ・佐藤憲一(総合文学 5 年次)

想像のアメリカ、アメリカの創造

——<アメリカ文学>前史——

- ・朴熙永(総合文学 5 年次)

上田秋成文学研究

——奇怪の構造と意味——

- ・KHIN WINE YE(総合文学 5 年次)

『源氏物語』翻訳文化論

* 博士号請求論文公開発表会は 2008 年 1 月 16 日および 26 日に開催予定

◎修士論文中間発表会(2007 年 10 月 31 日 於筑波大学人文社会学系棟 B519)

- ・穴見恭子(総合文学 2 年次)

ホラティウスとトロイア神話圏

——『カルミナ』を中心に——

- ・ 李正旭（総合文学 2 年次）

1930 年代後半の小説家における書くことの意味

——中野重治の『小説の書けぬ小説家』と『空想家とシナリオ』を中心に——

- ・ 金祉硯（総合文学 2 年次）

在日コリアンによる在日朝鮮人の表象

——映画『夜を賭けて』と『血と骨』を中心に——

- ・ 金鐘和（総合文学 3 年次）

芥川龍之介の作品における狂気の研究

——エドガー・アラン・ポーの比較の視点から——

- ・ 谷口一宏（総合文学 2 年次）

庄司薫作品研究

～新しい時代の「男らしさ」をめぐる～

- ・ 姚紅（総合文学 2 年次）

芥川龍之介作品における中国女性像

- ・ 李妍花（総合文学 2 年次）

谷崎潤一郎研究

——大正期における怪奇・幻想小説への模索——

* 修士論文公開発表会は 2008 年 1 月 23 日に開催予定